



新年あけましておめでとうございます。
今年も毎月の感染症情報を発信して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

新年早々1月8日、首都圏1都3県に対し緊急事態宣言が発令されました。とはいえ、新型コロナウイルス発生からほぼ1年が経過し、対処法や重症化年齢がだいぶ解り、小中高学校や入試に関しては休校要請をしない方針です。引き続き、高齢者、基礎疾患のある方へ移さないよう注意していきましょう。

2020年全国の統計を見てみましょう。日本においては欧米諸国に比べて、新型コロナウイルスによる死亡率が数十分の一である事が解りました。日本における新型コロナウイルスによる累計死亡数は3856人（2020年～2021年1月7日時点まで）です。韓国、台湾、香港、ベトナムでは日本よりもさらに死亡率が低く、これは東アジア人の特性がある等、諸説言われています。しかし、日本においては自殺者数が前年より増加しており、昨年1月～10月末までの総自殺者数は1万7219人におよびました。特に7月以降の自殺が増えており、新型コロナウイルスが心理的・経済的に深刻な影響を及ぼしていると言われています。ちなみに、2018年冬シーズンに流行した季節性インフルエンザによる総死亡数は、3325人でした。「死亡数はインフルエンザと同じくらいなのになぜ医療逼迫か？」という、感染症法における2類相当（結核やSARSが相当）の「指定感染症」に指定されているがゆえに感染症病床が足りないという状況が続いています。専門家の間では「2類相当から5類相当（季節性インフルエンザと同等）へ引き下げるべき」という声もあがっています。コロナ疲れしないよう、適度に外出して日光を浴び、気分転換を上手にしていきましょう。

～新型コロナウイルスワクチンについて～

日本においても、ワクチン接種準備が進んでいます。優先接種となるのは、医療従事者、高齢者、基礎疾患を有する患者となっています。様々なワクチンがある中、WHOで緊急接種を認められたmRNAワクチンについては、今までになかった全く新しいタイプの遺伝子組み換えワクチンであり、慎重な判断が必要とされています。20～30年といった長期的な副反応が不明であり、若年者は特に慎重な判断が必要です。

文責： 清水マリ子

表：12月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	84
2	胃腸炎	42
3	アデノウイルス扁桃炎	10
4	突発性発疹	7
5	水痘	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

2月に入り緊急事態宣言が延長されるニュースが報道されています。とはいえ、実際の統計をみてみますと2021年1月10日にピークの1.77となった実行再生産数（一人の人が周囲の何人にうつすかの指数）は10日以後減少し続け、1月30日時点では0.77まで下がりました。また、東京都の重症者数も1月20日以降減少し続けています。

最近、変異ウイルスのニュースが報道されていますが、これに伴って重症化や死亡率が急激に増える現象はみられていません。そもそも、以前から知られていることですが、RNAウイルスに属するコロナウイルスは1ヶ月に2回程度のペースで変異し続けています。また、1月22日、日本感染症学会がマスコミに対し声明を出し、「変異種」ではなく、「変異株」と呼ぶのが正しいと説明しています。

「変異種」というのは新しい生物種を指す言葉であり、誤用だとしています。

今回報道されている「変異株」は、感染力が強くなったと言われていますが、実行再生産数が下がっていることを見ればわかるように、現時点では感染力が強くなっているとは言えません。元来持っていた基本的特性はほとんど引き継がれていて強毒になった訳でもありません。ウイルスの身になって考えれば、ウイルスは人間の細胞内に入らなければ生きていけません。ウイルスが強毒になれば人間が死んでしまいます。人間に死なれてしまうと、ウイルスは住み家を失ってしまうため、不都合が生じます。ウイルスとしては、人間が死なない程度に伝染し広がることが好都合であると言えます。つまり、強毒であれば広く伝染する前に人間が次々に死んでしまうため、広がりにくいのです。弱毒であるからこそ、広がりやすい（つまり感染力が強い）と言えます。

弱毒の風邪ウイルスであっても、免疫力の低下した人にとっては注意が必要です。引き続き、移さないよう感染予防対策をおこなっていきましょう。そして、コロナ疲れしないよう適度に外出して日光を浴び、気分転換を上手にして免疫力を高めていきましょう。

文責： 清水マリ子

表：1月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	45
2	胃腸炎(アノ1含む)	30
3	アノ1/2扁桃炎	8
4	突発性発疹	2
5	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や-流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスワクチンについて～

日本国内でも2月中旬から新型コロナワクチン接種が始まりました。16歳未満の小児には実績がないため接種対象外です。また、安全性のデータが十分ではない妊婦には努力義務は適用されません。

先行は医療従事者で、3月1日時点では3万人が1回目の接種を終えています。発表されているワクチンの有効率は90%と言われており、ファイザーのワクチンの国内第Ⅰ/Ⅱ相試験における免疫原性（中和抗体価）は、2回接種することで高い免疫が誘導されていることが示されています。一方、副反応も報告されており、注射部位の疼痛・腫れ、倦怠感（だるけ）、頭痛、寒気、嘔気・嘔吐、筋肉痛、発熱などが見られます。アナフィラキシーの報告もされており、ファイザーとモデルナのワクチンを合わせると100万人接種あたり4.5人の頻度でみられました。この頻度や程度は特別に高いというのではなく、ほぼ一般的と言えます。アナフィラキシーに関しては、接種後30分以内に起こるものがほとんどであり、接種後の経過観察が必要です。以上の副反応は短期的なものであり、長期的な有害事象に関しては全く未知です。mRNAワクチンは人類初の試みであり、10年、20年、30年といった長期の観察データが一切ありません。このため、政府ははじめ自治体や学会は接種後の体調観察が重要であると説明しています。予測されている有害事象は、VAED（vaccine-associated enhanced disease）つまり接種を受けたことによって起こる症状の増悪や、ADE（antibody-dependent enhancement）という抗体依存性増強反応が挙げられています。

文責： 清水マリ子

表：2月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	72
2	胃腸炎	19
3	突発性発疹炎	6
4	アトピー性皮膚炎	3
5	RSウイルス	2
6	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページから
ご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**をWebで確認出来るようになって
います。**しみず小児科・内科クリニック**の予約
ページかホームページから確認出来ます。ご予約
は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で
構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**
をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも
多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

東京都では3月21日に第3波に対する緊急事態が解除となりました。これまでもお伝えしてきたように、コロナウイルスはもともと冬に流行する風邪ウイルスです。当然、冬を迎えた1～2月の第3波は昨年から続く中で一番大きな波となりました。これから第4波、5波が春、夏にやってくることが予想されますが、冬と異なり昨年の春や夏程度に感染者数が抑制されることが予想されます。とはいえ、引き続き持病のある方や高齢者の方、免疫が抑制されている方に移さないよう気を付けていきましょう。変異株の割合が増加していると報道されていますが、特に死亡者数や重症者数の割合が増加するような現象は認められていません。コロナウイルスはインフルエンザウイルスなどと同じように、しょっちゅう変異をしているウイルスです。しかも、変異によって感染力が増したからといって毒性が増す訳ではありません。WEBなどで重症者数などの実数の情報は日々更新されており、誰でもアクセスして確認できます。報道内容に振り回されずに冷静に判断してゆきましょう。ワクチン接種は西多摩地区でも順次行われますが、医療・介護従事者、重症化の可能性が高い高齢者や基礎疾患を有する患者さんが優先となります。とはいえ、ほとんどの方が無症状か軽症ですので慌てずに判断しましょう。

～RSウイルスについて～

福生市近隣でRSウイルスが流行しています。都内でも3月下旬から増加傾向ですので、福生に限ったことでは無いようです。月齢の低い乳児では気管支炎や肺炎を起こして入院が必要になることが多いですので、注意が必要です。特に3カ月以下の乳児は急に呼吸困難が進むことがありますので、咳、鼻水が増えてきたときは受診をしましょう。

文責： 清水マリ子

表：3月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	119
2	胃腸炎	29
3	RSウイルス	24
4	突発性発疹炎	5
5	アデノウイルス扁桃	4
6	おたふくかぜ	1
6	水ぼうそう	1
6	インフルエンザA	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページからホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

東京都では4月25日に3度目の緊急事態措置となり、さらに5月31日まで延長されました。直近3月と4月の東京都PCR陽性者数を比較するとやや増加傾向にありましたが、重症者数と死者数はほぼ横ばいでした。実行再生産数（1人の感染者が平均して何人に感染させるかの指標を前の1週間と比較して算出したもの）は、今年1月10日の1.68をピークにその後は1.0前後を推移しています。以上の結果から、4月の時点では変異株の性質としてやや広がりやすいという特徴はあるものの、毒性が増したという状況ではありませんでした。これまでの統計から見ますとほとんどの方が軽症ですが、免疫の低下した人にとっては重症化の可能性がありますので、引き続き持病のある高齢者、要介護者にうつさないよう気を付けていきましょう。気になる大阪府の実行再生産数は4月25日以後0.9台となっており（1を切ると減少傾向）、京阪神では減少傾向がつづいています※。

※「東洋経済オンライン新型コロナウイルス国内感染の状況」を参照

～その他の感染症について～

当院では4月は3月に引き続き溶連菌、RSウイルス、胃腸炎が流行しました。感染性胃腸炎に関しては、東京都4月現在ノロウイルスの定点報告（都内43カ所の数値）が増えているようです。昨年10月からロタワクチンが定期接種となった効果でしょうか、ロタウイルスは検出されていません。

文責： 清水マリ子

表：4月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	90
2	胃腸炎	41
3	RSウイルス	26
4	突発性発疹炎	5
5	アデノウイルス咽頭炎	1
6	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

東京都では5月31日までの予定だった緊急事態措置が6月20日まで延長されました。直近4月と5月の東京都PCR陽性者数をみてもみまると、5月13日がピークで後低下傾向です。重症者数と死者数は4月より5月はやや増加しましたが、こちらもピークを過ぎています。

日本小児科学会の見解では、2021年3月以降（第4波）でCOVID-19新規陽性者数が増えているものの、小児患者はわずかな増加にとどまっています。また、変異ウイルスに感染した場合も、多くが無症状か軽症で経過しています。小児COVID-19患者の大部分は成人患者からの感染（80%が家庭内感染）ですが、第4波に入っても特に変化していないということです。基本的な感染対策は3密回避・適切なマスク着用・手洗いなどですが、これからの季節は熱中症の危険がありますので、運動中や暑い環境ではマスクをはずしましょう。

～新型コロナワクチンについて～

厚労省は新型コロナワクチン接種可能年齢を16歳から12歳以上に引き下げることを容認しました。しかし、新型コロナワクチンは接種開始されてからまだ1年未満であり、数年後にどんな影響が出るかはわかっていません。日本国内の50歳台以下、小児新型コロナ患者がほとんど無症状から軽症であることを考慮しますと、小児への接種は慎重に判断する必要があります。6月9日の厚労省の発表によれば、国内で接種後196名の死亡報告がありました。専門家によると因果関係は評価できないとされています。ほとんどが高齢者ですが、この中には40歳未満の方も含まれていますので、慎重に判断しましょう。副反応の情報は厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

文責：清水マリ子

表：5月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	53
2	溶連菌	49
3	RSウイルス	11
4	突発性発疹炎	6
5	伝染性膿痂疹(ピヒ)	5
6	アデノウイルス咽頭炎	4
7	水ぼうそう	2
8	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧
になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

★あんずからのお知らせとお願い★

★**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入るようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧
になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

【感染症だより】

～RS ウイルスについて～

福生市周辺では2月下旬からRSウイルス流行が持続しています。特に乳児期は気管支炎や肺炎が悪化して入院になることが多いです。鼻水や咳が始めてから3～5日目に悪化して来ます。呼吸が速い、一回哺乳量がいつもの半分以下、顔色が悪い、咳き込んで吐くなどの症状がみられたら早めに受診をしましょう。

～新型コロナウイルスについて～

東京都では緊急事態措置が6月20日に解除となり6月21日から7月11日までの蔓延防止措置に移行されました。その後7月12日から8月22日まで緊急事態措置となりました。直近5月と6月の東京都の状況をみてみますと、デルタ株（インド株）が増えているということですが、重症者数と死者数の増加傾向は認められていません。

基本的な感染対策は3密回避・適切なマスク着用・手洗いなどですが、今の季節は熱中症の危険がありますので、保育園や幼稚園、学校において**屋外、運動中や暑い環境ではマスクをはずしましょう**。特に子どもは「決まりを守ろう」とする傾向がありますので、大人が「マスクをはずして良いよ」ということを教えてあげましょう。日本小児科医会では2歳未満のマスク着用は危険であるとしています。また、神戸市では登下校中と屋外、運動・体育の際にはマスクをしない方針としています。

～新型コロナワクチンについて～

厚生省は新型コロナワクチン接種可能年齢を16歳から12歳以上に引き下げることを容認しました。また、法律上の公的な予防接種の対象とする事が専門家の分科会でも承認されました。

一方、今回のワクチンはあくまでも治験中の特例承認であり、接種が開始されてからまだ1年未満です。数年後にどんな影響が出るかは全くわかりません。7月7日厚生省の発表では、因果関係不明ですがワクチン接種後556名の死亡事例と2276名の重篤な副反応事例が報告されました。

また、米国疾病対策センター(CDC)の諮問委員会によれば、新型コロナワクチンを受けた若者の間で、まれに心筋炎を発症するケースが出ておりさらに調査が必要だという認識を示しました。英国では、政府の諮問機関であるワクチン・予防接種合同委員会(JCVI)は、18歳未満を対象とした新型コロナワクチンの接種を巡り、リスクに関する多くのデータが得られるまで大規模接種を行わない方針です。小児は特に新型コロナ感染で重症化や死亡することがほとんどないため、ワクチンを接種する事の有益性を考慮すると、拙速な判断を避けたとみられます。

我が国では、より安全性の高い国産ワクチンを開発中です。欧米の感染状況の数十分の一である日本では、安全性の確立していないワクチンの接種について慎重に判断したいところです。 文責：清水マリ子

表：6月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	93
2	胃腸炎	60
3	伝染性膿痂疹(ヒトヒ)	9
4	RSウイルス	7
5	突発性発疹炎	6
6	アデノウイルス咽頭炎	5
7	水ぼうそう	3

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★ 夏休みのお知らせ ★

下記の期間は夏休みとなります。ご不便をおかけしますが何卒宜しくお願い致します。

病児保育室あんず：8月14～22日

しみずクリニック：8月15～22日

★8月23日から通常どおりとなります

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧
になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

【感染症だより】

～溶連菌感染症について～

溶連菌は毎年季節問わずに学校や保育園などで流行しますが、飛沫や接触によって感染します。通常は2～5日間の潜伏期の後、急に38℃以上の発熱や咽頭痛、莓状の舌、首のリンパ腺の腫れなどの症状がみられます。嘔気や腹痛を伴うこともしばしばあります。めったに重症化することはありませんが、高熱がなかなか下がらない場合、肺炎や髄膜炎、敗血症やリウマチ熱などに至ることがあります。治療は抗生剤でほとんどの方が改善します。発病から10日後くらいに稀に急性腎炎（血尿、むくみ）が認められることがありますので、当院では念のため回復後に検尿を実施しています。

～新型コロナウイルスについて～

東京都では4度目の緊急事態措置が8月31日まで延長になりました。直近6月と7月の東京都の状況をみてみると、デルタ株が増加し、PCR陽性者数と重症者数が増加しています。40～50代の方の入院数が増えているものの、回復力があるため全体の死亡数は少なくなっています。厚労省は今月、感染症法の見直しに着手しました。今まで指定感染症に指定されていたコロナウイルスを、季節性インフルエンザ程度の対応にするという検討です。これは昨年から言われ続けていることですが、指定を見直すことで医療逼迫の改善が見込まれています。

～新型コロナワクチン副反応について～

8月4日厚労省の発表で、因果関係不明ですがワクチン接種後912名の死亡事例と3338名の重篤な副反応事例が報告されました。この死亡数は、毎年行われているインフルエンザワクチン副反応死亡数の数百倍です。我が国で小児の接種はまだ本格化していませんが、12歳から19歳の接種後すでに重篤な副反応が17例報告されています。

表：7月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	197
2	胃腸炎	79
3	RSウイルス	27
4	伝染性膿痂疹(ピチ)	6
5	突発性発疹炎	5
6	アデノウイルス咽頭炎	2
6	手足口病	2
8	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

★ 夏休みのお知らせ ★

下記の期間は夏休みとなります。ご不便をおかけしますが何卒宜しくお願い致します。

病児保育室あんず：8月14～22日

しみずクリニック：8月15～22日

★8月23日から通常どおりとなります

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

文責：清水マリ子

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。



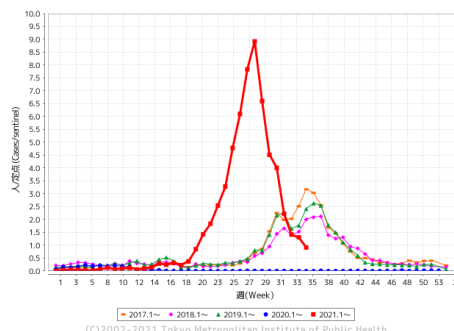


～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～RS ウイルス流行について～

今年は全国的に RS ウイルスが大流行しました。ピーク時は例年の2倍以上の流行（右図：東京都定点測定、赤いグラフが2021年）でしたが、収束に向かっています。RSにはワクチンが無く抗生物質も効きませんが、ウイルスの特徴として一時的に流行した後、自然に収束します。インフルエンザも、毎冬一定数の人数が感染し終えると自然に収束します。インフルエンザ流行中は「ウイルス干渉」によってRSウイルスは流行しません。また逆も然りです。つまり、昨年は新型コロナ流行によってインフルエンザやRSがウイルス干渉によって抑制されました。今年は0～2歳のRS未罹患児が一度に罹って大流行したと言えます。今年RSが大流行したことを踏まえると、今冬はインフルエンザが流行するかもしれません。



～新型コロナウイルスについて～

東京都では9月12日までの緊急事態措置が30日まで延長の予定となりました。直近7～8月の東京都の状況をみてみますと8月末から実行再生産数が1を切って減少に転じ、ピークアウトしています。8～9月に自宅療養者が増えましたが、自宅療養中でも必要時は発熱外来やコロナ診療が可能な医療機関を受診しましょう。また、自宅に籠っているとストレスが溜まって屋内で怪我をする場合もありますので、周囲に人がいないことを確認して屋外で気分転換しましょう。

～新型コロナワクチン副反応について～

8月25日厚労省の発表で、因果関係不明ですがワクチン接種後1093名の死亡事例と3867名の重篤な副反応事例が報告されました。日本国内で10代以下の健康な子どもでは新型コロナ感染による重症化や死亡例は認めていません。若年者（特に男性）では少数ですがワクチンの副反応で心筋炎や心膜炎のリスクがあり、ワクチン接種については慎重な判断が必要です。

表：8月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	188
2	溶連菌	56
3	RSウイルス	21
4	伝染性膿痂疹(ピヒ)	10
5	突発性発疹炎	2
6	アデノウイルス咽頭炎	1
6	手足口病	1
8	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧
いただけます。
<https://ssn-clinic.net/>

文責：清水マリ子

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

新型コロナウイルスの第5波は9月中旬に収束し、東京都では9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月24日までリバウンド防止期間となりました。ウイルス干渉の観点からすると、コロナウイルスが収束することによって他のウイルスが活発化する事が推測されます。そのためか10月に入って福生市内では、昨年以來ほとんど発生していなかった手足口病やヘルパンギーナが出てきました。

～インフルエンザワクチンについて～

10月に入りインフルエンザワクチン予防接種が始まりました。この前の冬は世界各地でインフルエンザはほとんど報告されませんでした。南半球のオーストラリアでも今年8月冬のインフルエンザ患者数は極めて少数でした。しかし、北半球で今年夏ごろバングラデシュでB型、インドでA型(H3N2)が流行したことを考えると、今冬は日本でもインフルエンザが出て来る可能性があります。コロナウイルス6波の勢が強くなってウイルス干渉されれば、インフルエンザが前期と同様に抑制されるかもしれません。コロナVSインフルエンザどちらが冬を制するかわかりませんが、小児にとってはインフルエンザのほうが罹患すると重症化リスクが高いですので、予防接種可能な方は接種しておきましょう。

～新型コロナワクチン副反応について～

厚生省から10月1日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係は不明ですが9月24日までに累計1233人の方が死亡、重篤副反応が4236人と報告されています。ワクチン接種によって重症化予防、死亡率低下が期待されていますが、ワクチン接種が進んでいるイスラエルや英国、シンガポールの状況を見ますと感染者は再び増加しており、時間経過とともに感染予防効果は低下するとみられています。日本においては、昨年の流行初期から一貫して健康な30代以下の人ではほとんど重症化する事がほとんどありません。接種後、若年男性に心筋炎や心膜炎の副反応が5万人に1人程度認められていることも踏まえ、ワクチン接種は慎重に判断したいところです。

文責：清水マリ子

表：9月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	93
2	胃腸炎(ノロ1含む)	60
3	RSウイルス	10
4	伝染性膿痂疹(ピチ)	6
5	突発性発疹炎	5
6	水ぼうそう	3
7	手足口病	2
8	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックの予約ページかホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～ヘルパンギーナ～

8月ごろから日本国内で手足口病とヘルパンギーナの流行が徐々に拡大しています。福生周辺でも10月、11月は依然としてヘルパンギーナが出ています。これらは夏風邪と言われるウイルスですが、新型コロナウイルスが減少してから勢力を伸ばしているようです。39～40℃くらいの高熱が出ることもあります。ほとんどが軽症で数日のうちに改善します。のどに口内炎のような水疱が出来るため、痛くてお食事を摂取できないこともあります。解熱して食べられるようになれば登園可能です。

～新型コロナウイルスと人口動態について～

2020年1年間の人口動態データで新型コロナウイルスを振り返ってみましょう。2020年我が国の年間総死亡数は約138万人で11年ぶりに減少していました（11年ぶりに人口減少が止まった）。欧米諸国ではコロナの影響で総死亡数が増え、超過死亡数がプラスとなりました。一方、日本は超過死亡数がマイナスで世界で最も少なかったのです。総死亡数が減少した要因は、新型コロナウイルス対策によってインフルエンザなどの他の感染症が流行せず、コロナ以外の感染症（肺炎など）の死亡数が減少したためと言われています。厚生省の発表による2020年の死亡原因の上位を見てみると、1位ががん、2位が心疾患、3位が老衰、4位が脳卒中、5位が肺炎、6位が誤嚥性肺炎、7位が不慮の事故、8位が腎不全、9位がアルツハイマー型認知症、10位がその他の認知症でした。新型コロナウイルスによる死亡数は3466人（11/14までの累計死亡数は18319人）で自殺の2万919人/年を下回りました。また、今年の100歳以上の高齢者が過去最高を更新しました。高齢者にとっても、新型コロナウイルスの影響は少なかったようです。

～新型コロナワクチン副反応について～

11月5日時点では全国人口の73.1%が2回接種終了しました。厚生省から11月12日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係は不明ですが累計1359人の方が死亡、重篤副反応が5607人と報告されています。若い人に多い心筋炎関連の副反応は、ファイザー製、モデルナ製を合わせると362例が報告されており、特に10歳台と20歳台の男性に多く認められています。ほか、米国の統計では若年者は2回目の接種後に心筋炎を発症するリスクが1回目より10倍高いと報告されています。英国、台湾、香港では10代の子どもには1回の接種のみを推奨しています。

文責：清水マリ子

表：10月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	192
2	胃腸炎	78
3	ヘルパンギーナ	15
4	伝染性膿痂疹(ピピ)	8
5	手足口病	4
6	アデノウイルス咽頭炎	2
6	おたふくかぜ	2
6	突発性発疹	2
9	RSウイルス	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックナンバーは
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。





～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～感染性胃腸炎～

9月に新型コロナウイルスが一旦収束した後、出番を待ち望んでいたかのように夏風邪のヘルパンギーナと手足口病が流行しました。冬にもかかわらず夏風邪が流行することはさほど珍しいことではありません。そして、夏風邪が落ち着いてきた途端、今度は毎冬流行する感染性胃腸炎が増えてきました。ニュースでも報道されているように、ノロウイルスに代表される感染性胃腸炎はアルコール消毒が無効です。何といても流水での手洗いが有効です。そして消毒には次亜塩素酸（ハイターなど）が推奨されています。胃腸炎は、水様便が頻回な時、嘔吐が続く時などに脱水症を起こしやすいので、水分補給をイオン飲料などで行いましょう。嘔吐が止まらない時は、吐き気止めを使うと良いでしょう。それでも嘔吐が止まらずにグッタリ、顔色が悪い時は受診しましょう。

～新型コロナウイルスについて～

南アフリカで最初に報告されたオミクロン株が世界各地で検出されていますが、WHOの発表によるとほとんどの症例が軽症か無症状です。感染力はデルタ株より強いと言われていますが、今のところ重症度は低いとのことです。また、つい先日、理化学研究所は日本人が欧米に比べて感染者数や重傷者・死亡者数が少ない特別な理由（ファクターX）の一つについて研究結果を発表しました。日本が欧米に比して病害が少なく済んでいるその理由とは、日本人の約6～7割の人が持っているHLA-A24という免疫に関わる細胞表面の型があることによって免疫が強く働くからだそうです。詳しくは、Youtubeの理研チャンネル「新型コロナウイルスに殺傷効果を持つ記憶免疫キラーT細胞一体内に存在するもう一つの防御部隊」でご覧になれます。

～新型コロナワクチン副反応について～

厚労省から12月3日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係は不明ですが累計1387人の方が死亡と報告されています。若い人に多い心筋炎関連の副反応は、ファイザー製、モデルナ製を合わせると476例が報告されています。特に10歳台と20歳台の男性に多いですが、女性でも報告されています。心筋炎副反応報告の重症度を詳しく見てみると「重い」と評価されているものも少なからず認められ、最重症ではお亡くなりになる方もいらっしゃいます。また、血小板減少に伴う血栓症の副反応も報告されており注意が必要です。これらの副反応報告は厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

表：11月しみず小児科・内科クリニックで
診断された流行性の感染症

文責：清水マリ子

	感染症	患者数
1	溶連菌	166
2	胃腸炎	75
3	ヘルパンギーナ	35
4	突発性発疹	6
5	手足口病	4
5	伝染性膿痂疹(とびひ)	4
7	咽頭アデノウイルス	1
7	おたふくかぜ	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。

あんず通信バックパ-は
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。**しみず小児科・内科クリニック**のホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

